

としまの森



交流都市との連携で カーボン・オフセットを推進

みどりや自然が少ない豊島区は、交流都市と協力して、区民の憩いの森「としまの森」をつくっています。都会では味わうことのできない自然体験を、みどり豊かな「としまの森」でしてみませんか。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs 未来都市豊島区



豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



としまの森・ちちぶ

埼玉県秩父市 (R1.7.10 ~)



ポテくまくん©秩父市

こんな生きものに出会えるかも♪

ミヤマクワガタ

オオミドリシジミ



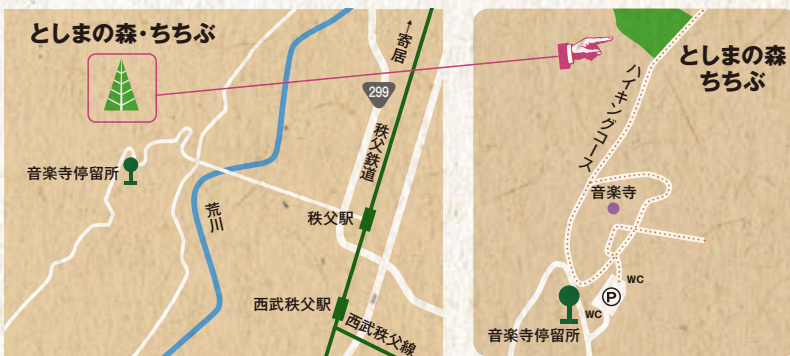
※写真は、「としまの森・ちちぶ」周辺の長尾根丘陵で撮影されたものです。

場所 埼玉県秩父市田村字長沢 171 番、172 番 2、3

面積 1.89 ヘクタール

アクセス 西武秩父駅から西武観光バス・ミュージックパーク線に乗り、「音楽寺」停留所まで約 15 分、バス停から徒歩 7 分

森の特徴 「としまの森・ちちぶ」は、ハイキングコースに面していて、誰でも自由に散策することができます。コナラやクヌギを中心とする広葉樹林で、ヤマザクラやヤマツツジ等の花樹も点在しています。山野草や昆虫も多数見受けられ、自然観察に最適です。



としまの森・みのわ

長野県箕輪町 (R2.9.1 ~)

箕輪町
イメージキャラクター
もみじちゃん



YouTubeも見てね♪

「としまの森・みのわ」PR 動画 (You Tube)
URL:<https://youtu.be/N7BjdW4rAqk>



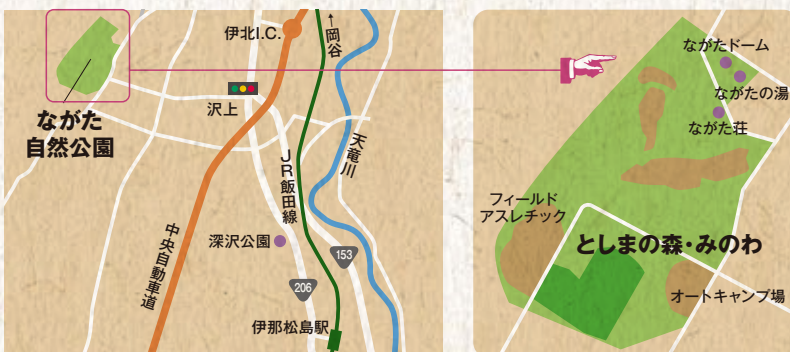
こちらからもどうぞ▶

場所 長野県上伊那郡箕輪町中箕輪 ながた自然公園内

面積 2.9 ヘクタール

アクセス 伊北 IC から 2km 5 分
JR 飯田線 伊那松島駅下車 タクシー 10 分

森の特徴 「としまの森・みのわ」のある、ながた自然公園は、天然のアカマツの林に囲まれていて、散策や森林浴はもちろん、キャンプ、アスレチック、マレットゴルフなど自然を満喫できるアウトドアアクティビティが楽しめる場所です。
※冬季期間 (12 月 ~ 3 月) は、休園中のため入れません。





「としまの森」を活用した環境交流事業



区では、「としまの森」整備事業の一環として、交流都市との協働により環境交流事業を実施しています。

「としまの森」を環境活動フィールドとし、区民の皆さまに、都会では味わうことの出来ないダイナミックな自然体験をしていただくことで、環境意識の向上や都市間交流の促進につなげることを目的としています。

令和元年度は、秩父市で環境交流体験ツアーを行いました。ツアーでは、丸太切りコースター作りなどの体験プログラムや、秩父市職員の方のガイドによる街歩きにより、秩父市の歴史や文化を学ぶ学習プログラムなどを行いました。

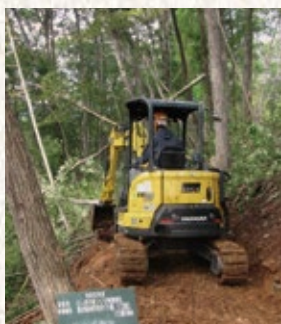


森林を保全・再生～「としまの森」における森林整備～



間伐

樹木は年数が経つと、密集してきてしまい、光が当たりにくくなってしまいます。そのため、森林の中に日光がよく差しこむように、弱った木や、枯れた木などを切って、木と木の間隔を広げてあげます。この作業を間伐といいます。



下刈り

下刈りとは、樹木が健やかに育つように雑草や雑木を刈り取る作業です。雑草が多いと日光がさえぎられたり、水分が奪われたりして樹木が育成しにくくなってしまいます。



遊歩道整備

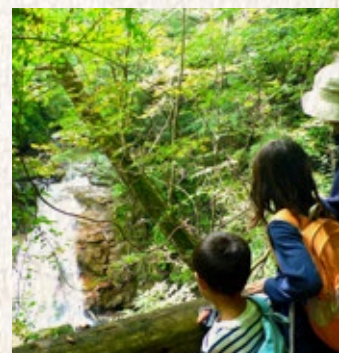
「としまの森」に訪れた方が森の中を散策出来るように、遊歩道を整備しています。間伐した樹木をウッドチップにしてまいて、歩きやすくしていますのでぜひ一度訪れてみてください。



知っていますか？森林の働き



森林は、自然災害や地球温暖化の防止、生物多様性の保全など、さまざまな働きを通じて人々の暮らしに役立っています。例えば、木の根は土砂や岩石などをおさえて山崩れを防いでいます。また、光合成で二酸化炭素を吸収するため、地球温暖化を防止してくれます。森林にはいろいろな植物が茂っており、多くの生きものたちのすみかにもなっています。さらに、キャンプや山登り、森林浴などのレクリエーションを通じて人々の心身のやすらぎの場となっているなど、森林は私たちの暮らしにさまざまな恵みを与えています。



としまの森



としま ななまる

豊島区民の環境活動フィールド

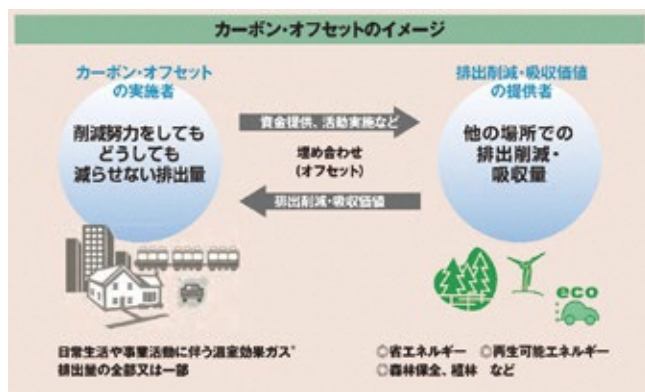
緑の少ない豊島区では、自然豊かな交流都市に森林を借り、自然体験や、環境教育を提供することのできる活動フィールド「としまの森」として整備する事業を行っています。さらにこの取組みは、森林整備をすることにより、現地で得られた二酸化炭素吸収量と豊島区内の二酸化炭素排出量を相殺するカーボン・オフセットも行うことで、地球温暖化対策にもつながっています。



「としまの森」の森林整備でカーボン・オフセットを推進

カーボン・オフセットとは、私たちの活動によって排出される二酸化炭素などの温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部または一部を、他の場所での排出削減・吸収量でオフセット（埋め合わせ）することをいいます。

「としまの森」整備事業では、都道府県の二酸化炭素吸収量認証制度を活用して、カーボン・オフセットを推進しています。令和2年度までに、秩父市と箕輪町で行った約1.4haの森林整備により、20.6tのCO₂削減につながりました。



出典：オール東京62市区町村共同事業「自治体向けカーボン・オフセットガイドブック」



〈秩父市〉
埼玉県森林CO₂吸収量認証制度による
認証



〈箕輪町〉
長野県「森林の里親促進事業」
CO₂吸収評価認証制度による認証



豊島区は「ゼロカーボンシティ」を目指します！

豊島区は、令和3年2月、脱炭素社会の実現に向けて、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明しました。

※ゼロカーボンシティ：2050年に二酸化炭素排出量を実質ゼロを目指す旨を首長自らが又は地方自治体として公表された地方自治体のこと。